学校番号	3020

令和８年度　商業科

教科	商業科	科目	ビジネス法規	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	ビジネス法規　（実教出版）						
副教材等	ビジネス基礎準拠問題集（実教出版）・商業法規便覧（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

法規がビジネスの現場を含めた社会生活とどのように関わっているか、その法規の目的や役割についてなど、このビジネス法規で学んでいきます。日常に身近なことが学べる授業であるため、法規という多くの知識を習得することを目的とします。会社の法律だけではなく、日常生活でも使うかもしれない法規が必ずあります。積極的・意欲的な態度で授業に参加してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的知識を習得し、日常生活の知恵も養う。
【思考力、判断力、表現力等】
・諸法規が日常生活に密接不可分であるかを知るとともに、自分たちの生活関係を規律していることの意義と役割を理解し、経済事象を法律的に考え、判断する能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・諸法規と自分たちの生活関係との密接な関係を理解し、経済事象を法律的に考える態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	経済活動や市民生活のあるところ法規あり、と実感し理解することが知識の裏付けをもってなしうるか。また、新聞記事などを通してそれらのことが「法規社会」でどのように扱われ、条文と相関できるか、また具体的に知識として定着させることができるか。	ある事象の解釈について、また条文についてなどの生成過程や立法の趣旨を論理的に思考しとらえることができているか。また、それを自分の言葉で表現し、説明することができるか。	経済生活や私たちの市民生活が安定的に営まれることは、法規の存在による「法規社会」であるため、法の知識、法的思考が生活上必須のことであることに関心をもち、自分の生活にどれだけ関わっているのかを主体的に学習しようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	学	単	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法

				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	法の概要／権利・義務と財産権／財産権の変動	・ビジネスにおける法の役割 ・法の体系と解釈・適用 ・権利・義務とその主体 ・物と物権・債権 ・知的財産権 ・契約 ・物の売買 ・物の貸借	a:ビジネスにおける法の役割や解釈等の専門知識を学ぶ上で基礎的・基本的な学習の重要性について理解を深める。 b:aで得た知識を用いて判例等に対してどのような解釈の上で判断されたのかを自分で考え、その結果を発表できるようにする。 c:ワークシートを活用して、自分が興味のある内容や生活に身近な内容について、さらに一層深く自主的に学ぶ。	定期考査 確認テスト 提出ノート ワークシート	定期考査 提出ノート ワークシート	提出ノート ワークシート 観察
二学期	財産権の変動／企業活動と法規／企業責任と法規／紛争の解決と予防	・不法行為 ・時効 ・企業活動の主体 ・株式会社の特徴と機関 ・資金調達と金融取引 ・組織再編と精算・再建 ・競争秩序の確保 ・法令遵守と説明責任 ・労働者の保護 ・消費者の保護 ・情報の保護 ・紛争の解決	a:ビジネスにおける法の役割や解釈等の専門知識を学ぶ上で基礎的・基本的な学習の重要性について理解を深める。 b:aで得た知識を用いて判例等に対してどのような解釈の上で判断されたのかを自分で考え、その結果を発表できるようにする。 c:ワークシートを活用して、自分が興味のある内容や生活に身近な内容について、さらに一層深く自主的に学ぶ。	定期考査 確認テスト 提出ノート ワークシート	定期考査 提出ノート ワークシート	提出ノート ワークシート 観察
三学期	紛争の解決と予防／税と法規	・紛争の解決 ・紛争の予防 ・税の種類と法人の納税義務 ・法人税の申告と納付 ・消費税の申告と納付	a:ビジネスにおける法の役割や解釈等の専門知識を学ぶ上で基礎的・基本的な学習の重要性について理解を深める。 b:aで得た知識を用いて判例等に対してどのような解釈の上で判断されたのかを自分で考え、その結果を発表できるようにする。 c:ワークシートを活用して、自分が興味のある内容や生活に身近な内容について、さらに一層深く自主的に学ぶ。	定期考査 確認テスト 提出ノート ワークシート	定期考査 提出ノート ワークシート	提出ノート ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度